

展示会パネルで新工法提案

付加価値創造合同会社

簡単施工、繰り返し使用可

中小企業向けに展示会出展コンサルティングや補助金申請支援などを手掛ける付加価値創造合同会社（本社名古屋市中区恵方町、多和田博社長、電話052・680・9099）は、展示会パネルの装飾で新工法を考案した。布を使うことで安価で見栄えのいい展示ブースがつくれる。施工も手軽で、布や付属する部材は繰り返し使うことができる。この工法で3年後に売り上げ1億円を目指す。

（竹田ゆりこ）

新工法は、基礎小間と呼ばれる、展示ブースにあらはじめ設置された間仕切りパネルに、もう一枚部材を

取り付けその上に布を張る。マジックテープや両面テープなどを使い初心者でも簡単に施工できる。部材の上に布を重ねて張ること

販売のほか、部材はレンタルも行う。価格は、布に印刷するキャッチコピーや製品画像などのデザイン料を除き、布と部材で約10万円。持ち運びも手軽で、繰り返し使えるため、展示会パネルにかける費用を抑えることができる。



多和田博社長

で、よれたりしわが出るのを防ぎ、きれいに仕上がるという。

基礎小間に取り付ける部材は、12枚で1セット。12枚を組み合わせると高さ2

・7尺、幅3尺の大きさになる。

る。
同社は昨年10月に設立。段ボール製品開発などを手掛けるエコス（本社名古屋市中区）からコンサルティング関連事業を分離して設立した。2018年8月期（11カ月の変則決算）の売上高は約1600万円。

店舗での子連れ

ケイ・ウ、

ジュエリー製造・販売のケイ・ウノ（本社名古屋市中区猫洞通、久野雅彦社長、電話052・763・6159）は、全国に展開しているジュエリーショップで、子連れ客の受け入れ体制を強化する。

店内に、ベビーカーを置くことなく、そのまま利用できる席を配置する。同社ホームページサイトの店舗情報に「ベビーカー可」のアイコンを表示する。また、サロンや個室にノンカフェインの飲み物を用意する。



新工法を採用した展示ブースの一例

ゴヤ 2018